

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人麗聖母園 放課後等デイサービス事業所やまびこクラブ		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19人	(回答者数) 19人
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○ライフステージが近い年齢のデイサービス(中高生中心)なので、支援プログラムの内容について明確な内容を設定しやすい。	・支援者側が設定したプログラムだけではなく、子ども達の自己決定や意見を反映させた内容も設定している。 ・思春期に差し掛かるので、性別に沿ったプログラムを設定している。	・一人ひとりの障がい特性に応じて、将来を見据えた支援内容を考えていく。 ・子どもの興味の幅が広がり、余暇支援に繋がる内容を考えていき、機会を増やしていく。
2	○地域資源を活用する機会が多い。	・公共施設、公共機関を活用する活動を企画している。 ・地域で行われるイベントの情報確認。 ・派遣講師、講演を活用して、子どもたちの参加状況を確認する。 ・卒業後の生活、余暇につながる内容を設定している。	・公共施設、公共機関と地域資源を活用する機会を増やしていく。
3	○隣接する同法人の事業所(子ども園、障害者施設、老人ホーム等)と交流する機会がある。	・就労体験(掃除実習等)や祭り等の行事で、交流を図る機会を設けている(交流に向けて活動の中で取り入れ、準備している)。	・交流する回数が少ないので増やしていく。 ・次年度の計画で広げる機会を増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○事業所で取り組んでいる支援内容について、保護者へ伝えきれていない部分がある。	・支援について、活動内容についてはメールやお便り等で発信しているものの、伝えきれていない部分がある。 ・保護者が参加する行事では参加者が限られてしまう。	・保護者が参加する行事について、保護者が興味を持つ内容等を検討していく。 ・SNSやお便りの発信頻度について検討をしていく。
2	○他機関(相談支援事業所、学校、行政機関等)と連携を図っているものの、回数が少ない。	・相談支援事業所との連携はある程度図れているものの、支援時間の関係で、学校、行政機関と集まる機会が少ない。	・面談以外で電話やオンライン等を活用しながら、連携を図る機会を増やしていく。
3	○建物の構造上、個別で支援するスペースが少ない。	・個別でかかわるスペースが少ないことで、周りへの配慮が難しいことがある。	・利用児の状況、状態に合わせた支援内容を設定していくことと、個別、集団、小集団グループと分けるなどして環境設定をしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数	
放課後等デイサービス事業所やまびこクラブ		2026年2月27日				19名	19/19
		利用児童数				回収数	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2	1		活動によって狭いと感じることがあるので、グループ分けをするなど工夫していくことと、活動内容によって公共施設を活用していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	1			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	2			環境整備をしていますが、引き続き障害特性に応じた環境設定、配慮をしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	1			
適切な 支援の 提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17			2	支援プログラムを公表した際は、広報等で伝えていき、事業所内にわかりやすい所へ掲示していきます。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17			2	支援プログラムが固定化されないよう工夫していくことと、支援内容についての発信方法について検討していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	13	4		2	公共施設、地域で企画しているイベントに積極的に参加して、交流する機会を増やしていきます。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19				引き続き、ご家族が参加できる研修会、勉強会の設定をしていきます。また、家族支援プログラム、研修会を実施する際は保護者の方に内容等含めて、ご理解を得られた上で進めていきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	18	1			子どもの状況について、普段から様子を伝え合う(面談・SNS等)環境を整備して保護者と共通理解を深めていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	2			年2回面談の機会を設定しておりますが、その他子育て等に関する悩みがあったら都度対応していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	4		1	ご家族、きょうだい向けのイベントについては、内容や回数等を検討しながら交流できる機会を企画していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1				年2回面談の機会を設定しておりますが、その他子育てに関する悩み、相談、要望や申し入れがあったら都度対応していきます
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1				個人情報に留意しながらより分かりやすい発信の仕方を検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1				災害マニュアルについては説明会で伝えておりますが、より周知できるように個別面談等や事業所内のわかりやすい所へ掲示していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19					年2回避難訓練を実施していますので、実施した際は広報、SNS等でお伝えしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支障が行われていると思いますか。	19					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状態等について説明がされていると思いますか。	19					事故等(怪我等)が発生以外でも状態に変化があった際は速やかにその日にお伝えしていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	3				子どもが楽しみで過える環境、興味を示してもらえそうなプログラムを設定していきます。
	29	事業所の支障に満足していますか。	19					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス事業所やまびこクラブ		公表日		2026年2月27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	5		・建物の構造上、狭いと感ずることがあるので、集団活動と個別活動のバランスがとれるよう、活動プログラムを設定していきます。 ・近隣の同法人の建物や公共施設を活用しながら、スペースを確保しています。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・活動内容によって、職員の人数を増やして対応しています。	・個別で配慮を要することもに対応することで、周りへの配慮が不足してしまうことがあるので、チームで連携して支援していきます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			・環境整備をしていますが、引き続き障害特性に応じた環境設定、配慮をしていきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1		・室内の整理整頓、適度な換気、空気清浄機等を活用しながら清潔で心地よく過ごせるようにしていきます。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・こども本人から訴えがあったとき等、必要に応じて使用許可をしています。		
業務 改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	・支援プログラムの振り返りやサービス評価、アンケートの記入を保護者へお願いをし、業務改善に繋がっています。	・広く職員が参画でき、意見を反映されていくようにしていきます。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・保護者からの意向を把握するために、サービス評価の他に支援等についてのアンケートを実施して、その内容を業務改善に繋がっています。	・保護者等の意向等を把握して、支援、業務内容の改善に繋がっていきます。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・会議以外にも毎朝ミーティングを行い、共通理解をしています。	・決定事項を伝えるだけでなく、多くの職員の意見を聞く機会を設け、業務改善につなげていきます。 ・会議で繰り返しの確認が多いときがあるので、ポイントを絞るなどして効率良く進めていくよう検討していきます。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		・第三者委員会以外にも外部評価を受ける機会を検討していきます。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・職員の資質向上の為に可能な限り参加できるように時間帯を設定して、学びの機会を確保しています。	・研修した内容について、支援にいかせるよう検討していきます。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1			
12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			・アセスメントの結果について、客観的に分析をして計画に反映させるようにしていきます。		

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・こどもの行動状態に応じたアセスメントツールを活用して、支援に反映させています。	・こどもの状況について、普段から様子を伝え合う(面談・SNS等)環境を整備して保護者と共通理解を深めていきます。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			・年2回面談の機会を設定しておりますが、その他子育て等に関する悩みがあったら都度対応していきます。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・立案のときにチームで話し合いをしています。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			・プログラムの内容について、利用児の障害特性に合わせて工夫していきます。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			・集団活動が苦手とするこどもに対しての支援についてチームで話し合い、共通理解をしてしていきます。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・活動内容について職員間で周知できるように支援前に話し合いをしています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・送迎等で支援終了後は厳しいので、次の日には打ち合わせ等を行い共有しています(緊急なものは業務ラインを使用)。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・当日もしくは翌日には記録を書くようにしていき、支援の検証、改善に繋がっています。	・記録のまとめをしてより日々の支援に反映させていくようにしていきます。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5		・「4つの基本活動」をふまえて目的設定をし、内容を考えられています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	5		・活動の中でこどもが自己選択できる支援内容や、意見の場を発表できる機会を設定しています。	・こどもに合わせた、自己選択の提示の仕方について検討していき、一人ひとりの力が伸ばせる内容にしています。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			

27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・関係機関と連携を図る体制を整えています。	・支援時間が異なることで、会議時間の設定が難しいことがあるので、連携のやり方について検討していきます。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・学校の行事や送迎時間など情報共有をしています。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		・中高校生を中心としたデイサービスの為、対象児はいないものの、同法人の小学生対象としたデイサービスとは移行の際に情報共有しています。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			・移行する事業所とのやりとりをする機会が少ないので、こちら側からも積極的に働きかけて、移行する事業所と情報共有、相互理解に務めるようにしていきます。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		・同法人内の専門職員からベアトレ等、研修を受ける機会を設けています。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	・児童館等の交流は難しいが、地域のイベント(スポジミや公共施設のイベント)に積極的に参加しています。	・中高生対象のデイサービスなので、児童館との交流はないですが、地域の方が集まるイベントに積極的に参加するようにして交流を図る機会を増やしていきます。
33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5			・管理者だけでなく、様々な職員が参加できるようにしていきます。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・送迎時にこどもの様子を伝えながら状況確認をしています。 ・OBの方からの卒業後の生活等の話を聞く等の機会を設けています。	・年2回の面談以外でも保護者からの要望、事業所で状況を共通理解を図りたいときは都度、面談の機会を設けていきます。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		・就労施設の見学や大人制度等についての勉強会を行っています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・運営規定、支援プログラム、利用者負担等について説明会を実施して伝えています。	・説明会に参加できなかった保護者については個別に説明をしています。
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			・個別支援計画を策定するときに本人、保護者の意向を確認する機会を設けています。
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・年2回の面談だけではなく、必要に応じてその都度面談の機会を設けています。	
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		・父母会はないが、行事、勉強会を通じては保護者同士で交流する機会を設けています。	

41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・苦情があった場合に迅速に対応できる体制を整備しています(意見投書箱の設置等)。	
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・定期的に活動概要や行事予定についてお便り、SNS等を通じて発信しています。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・個人情報の取り扱いについて、会議等で留意するように周知しています。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・情報共有を図るためにホワイトボードや掲示板、お便り等を活用しながら伝達しています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	・広報誌を隔月で配布して、情報を発信しています。 ・行事(祭り・作品展示会)を開催する際に地域にお知らせをしています。	・より多くの方に来てもらえるように発信の方法について検討していきます。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・マニュアルを策定して、説明会で保護者に周知しています。 ・避難訓練を年2回以上実施しています。	・策定したマニュアルに沿って訓練をする機会を設けていきます。 ・定期的にマニュアルを見直し、訂正をしていきます。
47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	1		・プロフィールで確認するようにしているものの、見にくい部分があるので、書式の検討をしていきます。
49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・プロフィールで確認しており、何かあった場合はその都度保護者に確認し、把握するようにしています。	
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・案件があった際は会議で共有して対応についてルール決めをしています。	・ヒヤリハットがあった際に職員間で共有するシステムはできているが、全職員が提出できるように書式等含めて検討していきます。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	・研修や未然防止の為に虐待防止委員会で話をして、職員会議で周知するようにしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・身体拘束委員会を設置していますので、案件が上がった際は計画を立てて、保護者の方に説明、了解を得た上で進めています。	